

～企画展示～

「横須賀製鉄所の同窓生」

横須賀製鉄所には、国内最高水準の学校「饗舎(こうしゃ)」が設置されました。同校の出身者や演習図面、卒業生提案の「フランス料理のフルコース案」を紹介します。

横須賀製鉄所の同窓生たちは、浦賀ドック（浦賀船渠）の設立にも貢献しました。昨年末に寄贈を受けた「浦賀ドック貴重写真」も速報展として初めて当館で展示します。

1 期間・開館時間

3月11日（土）～6月4日（日） 9時～17時

【休館日：月曜日（ただし祝日の場合は翌日）】

2 開催場所

横須賀市自然・人文博物館 3階特別展示室

3 内容（コーナーと主な展示資料）

- (1) 横須賀製鉄所の付属学校「饗舎(こうしゃ)」
 - ・演習図面を一堂に展示（これまでは一部のみを展示）
- (2) 横須賀製鉄所ゆかりのフランス料理
 - ・饗舎出身の東京帝国大学教授が提案したフランス料理のフルコース案を紹介
 - ・料理を忠実に再現したレプリカも展示
- (3) 「浦賀ドック貴重写真」速報展！
 - ・横須賀製鉄所の人と技術が活かされた「浦賀ドック（浦賀船渠）」の建設と創業期を記録した貴重写真を展示
 - ・写真は平成 28 年末に寄贈を受け、初めて当館で展示します

4 関連行事

＜展示解説（参加自由）＞

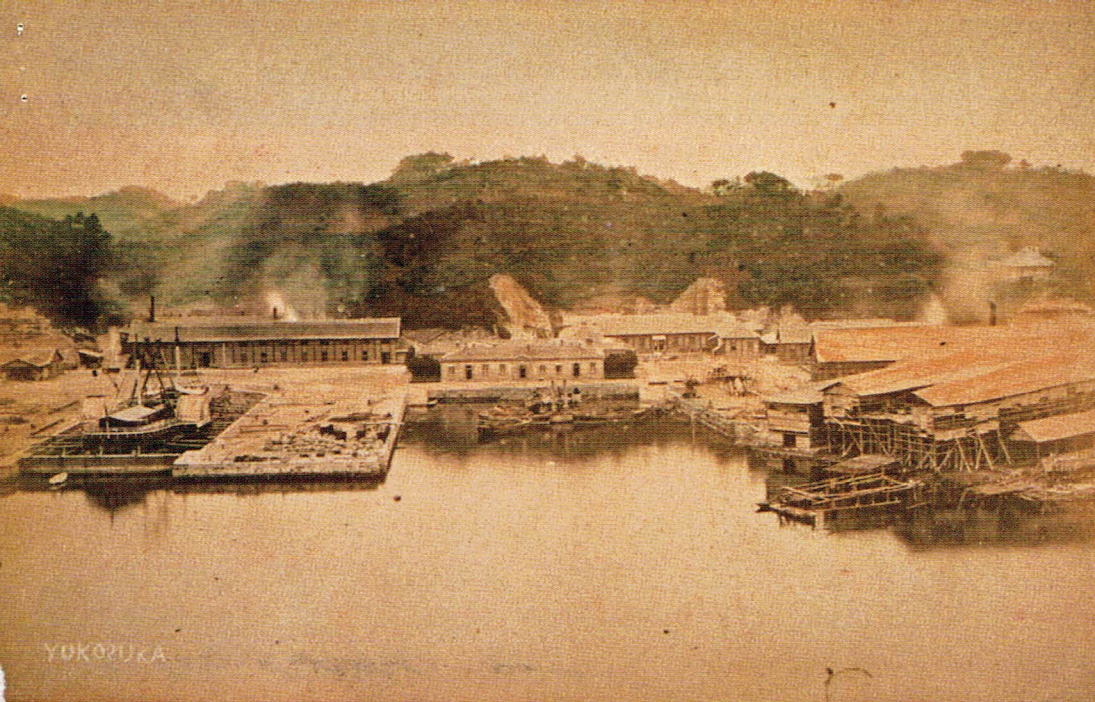
横須賀製鉄所の同窓生と技術、その後への影響について解説します。

日時：3月11日（土）、4月2日（日）、5月4日（木・祝） 14時～15時

場所：横須賀市自然・人文博物館 3階特別展示室

（事務担当は、教育委員会博物館運営課 菊地 直通 046-824-3688）

企画展示 横須賀製鉄所の同窓生



横須賀製鉄所にあった国内最高水準の学校「巒舎(こうしゃ)」。その「演習図面」や卒業生提案の「フランス料理のフルコース案」などを中心に紹介。浦賀ドック貴重写真も展示。

展示解説 【参加自由・無料】

- ① 2017年3月11日(土)
 - ② 2017年4月2日(日)
 - ② 2017年5月4日(木・祝日)
- 【時 間】 14:00～15:00

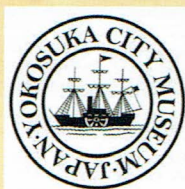
開館時間

9:00～17:00

休館日

月曜日(祝日の場合は翌日)

※ みなさまのご来館をお待ちしています!!



開催期間

2017年3月11日(土)～6月4日(日)迄

主催:横須賀市自然・人文博物館

お問い合わせ先:046-824-3688(9時～17時)

住所:神奈川県横須賀市深田台95

サイト:<http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp>

アクセス



- 京浜急行横須賀中央駅より徒歩10分
- JR横須賀駅よりバス「文化会館前」下車徒歩5分

横須賀製鉄所にあった最高水準の理工系学校

その名は学び舎を意味する「饗舎(こうしゃ)」。19世紀末、開国直後に技術界をリードしうる若い人材を育成するために横須賀に設置されました。フランス語系造船技術人材のみならず他の分野でも先駆的に活躍する優れた人材を輩出しました。昨年度の横須賀製鉄所(造船所)150周年記念展では紹介しきれなかった同校の演習図面やノート、教科書を中心に展示します。

横須賀製鉄所ゆかりのフランス料理？

そのフランス料理を生み出したのは櫻井省三。

横須賀の「饗舎」に学んだ櫻井は、卒業後にフランスの優秀校に留学、そこで造船学を学ぶかたわら、現地で本場のフランス料理を学びました。帰国後は、東京帝国大学(現東京大学)の教授をつとめ、造船学科の創設期を大きく支えました。その後も、人々の健康と幸せを願って、料理研究を進め、東京帝国大学の近くにあった自宅で料理教室も開きました。櫻井は、料理の研究書も出版し、人々をもてなす「フランス料理フルコース案」を提案します。

その「フランス料理フルコース」を再現展示します。(※食べられません)

「浦賀ドック貴重写真」速報展！

浦賀ドック(旧浦賀船渠)でも横須賀製鉄所の同窓生たちが活躍しました。浦賀ドックは、明治30(1897)年に設立され、続いて赤れんがの1号ドックも完成しました。同社は、民間が設立した工場としては、この当時、国内最大級の規模を誇ったと考えられます。その建設や運営では、「横須賀製鉄所の同窓生」も活躍しました。1号ドックの設計で活躍した杉浦栄次郎氏も横須賀製鉄所(造船所)で技術を学んだ人物でした。よって、浦賀ドックには横須賀製鉄所の技術も伝わっており、これらの技術もまた「横須賀製鉄所の同窓生」と呼べるような存在かもしれません。

当館では、昨年末、浦賀ドックの建設と創業期を記録した貴重な写真のご寄贈を受けました。1号ドックのすぐ近くを通る道路の上には、かつて山がありました。写真には、ドックとともに出現した道路の敷地の様子も写されており、浦賀の都市形成を物語る貴重な資料となっています。

浦賀ドックの設計図(石井コレクション)も映像展示コーナーで常設展示中です。

フランスの優秀校エコール・ポリテクニクと写真展

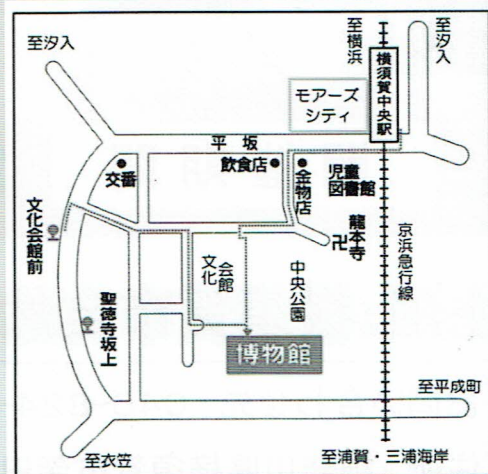
フランス革命勃発から5年後の1794年に科学者たちによって創設された、理工系の最高学府のひとつ。横須賀製鉄所の建設、運営を担ったヴェルニー、ティボディエ、デュポンたちの母校であり、同校の教育システムは「饗舎」にも活かされたと言われています。このような縁から、今年初めにフランスの同校で開催された「日本」をテーマにした写真コンクールの作品群を、今回の企画展に合わせて迎えて展示することになりました。ヴェルニーの後輩たちの作品をご覧ください。



◆エコール・ポリテクニク(1962年撮影、
郊外移転前のパリ校舎の正門)
※エコール・ポリテクニク(フランス)所蔵
© Collections Ecole polytechnique(France)



◆浦賀ドック貴重写真
(若村家寄贈)



会場への案内図